

新庁舎建設基本構想・基本計画 策定委員会ニュース 第7号（2020.4.24 発行）

《第7回策定委員会の概要》

令和2年3月27日（金）に予定していた第7回策定委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、委員と事務局による書面を用いた開催としました。そこでは、これまで6回にわたる検討の成果である「新庁舎建設基本構想（素案）」の内容の確認をしました。その際、委員からは「災害対応に関する記載をより強調するべき」「区民の利便性向上のため、“行政手続きの電子化”に関する記載をするべき」「周辺の街並みに配慮した庁舎であるべき」というご意見がありました。

これらの点を反映した基本構想（素案）は、区ホームページに掲載されています。当構想の「目次」と「基本理念・基本方針」は以下のとおりです。



【新庁舎建設基本構想（素案）目次】

- 1 新庁舎建設に向けた背景
- 2 新庁舎整備に際し配慮・検討すべき事項
- 3 新庁舎整備の基本的な考え方
- 4 策定委員会における今後の検討項目とスケジュール
- 5 国や東京都などの機関との一体整備の検討
- 6 新庁舎整備に関する区民との検討
- 7 資料編

■ 新庁舎の基本理念・基本方針

基本理念	基本方針
“災害対応の拠点”として70万区民を守る、たくましい庁舎	<ul style="list-style-type: none">・ 水害から区民を守り、確実な情報を発信できる庁舎・ 大地震後も行政機能を維持できる、十分な耐震性を有する庁舎・ どんな災害時にも機能し得る庁舎・ 復旧・復興の司令塔となる庁舎
“協働・交流の拠点”として開かれ、シビックプライドを高めていくような庁舎	<ul style="list-style-type: none">・ 区民の誇りとなり、集う庁舎・ 協働の拠点として開かれ、幅広い世代が交流するなど、賑わいを生む庁舎・ 親しみやすい緑の空間が存在し、居心地の良い庁舎・ 区の歴史・文化を継承し、時代とともに発展していく庁舎・ 周辺のまちづくりと連動し、まちのグレードを高める庁舎
“区民サービスの拠点”として、誰にでも優しい庁舎	<ul style="list-style-type: none">・ 案内サインやバリアフリーが最大限に充実し、誰もが利用しやすい庁舎・ 行政手続きがスムーズに行える庁舎・ アクセスしやすく、身近に感じる庁舎・ 職場環境が整い、より良い区民サービスの拠点となる庁舎
“日本一のエコタウン”実現に向け、環境の最先端を歩む庁舎	<ul style="list-style-type: none">・ 省エネルギーなどの技術を取り入れ、地球環境に優しい庁舎・ 周辺の環境や景観に調和し、緑を感じられる庁舎・ 環境面に関する取り組みを区内外に発信する庁舎
“健全財政”を貫きつつ、将来変化にも柔軟に対応できる庁舎	<ul style="list-style-type: none">・ 建設から維持管理まで、長期的な財政負担に配慮した庁舎・ ライフサイクルコストの低減を意識した庁舎・ 人口のピークや社会情勢の変化を見据えながら、使い方を工夫できる庁舎

令和2年度はこの内容を踏まえながら、新庁舎の規模や機能などに関してより一層検討を深め、令和3年3月の「基本構想・基本計画」策定に向けて進めてまいります。

《第8回開催の予定》

日程：2020年（令和2年）6月4日（木）13：30～
内容：基本計画（案）に向けた検討



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ（左の二次元コード）をご覧ください。

発行：新庁舎・大型施設建設推進室
新庁舎建設推進担当課
電話：03-5662-2605

新庁舎建設基本構想・基本計画 策定委員会ニュース 第8号 (2020.6.15 発行)

《第8回策定委員会の概要》

令和2年6月4日(木)に開催した第8回策定委員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び、新たな会議スタイル模索を目的に、1か所に集まらない「Web会議」として開催しました。各委員が区役所や自宅、職場、身近な区民館からアクセスする新たなスタイルは、都及び都内の区市町村を対象とした自治体専門誌『都政新報』に掲載されるなど、注目された取り組みとなっています。

【第8回 新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会 次第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の内容検討
- 4 その他
- 5 閉会

Web会議による策定委員会の様子(区役所・自宅・職場・区民館)



区役所(密集を防ぐため離れて着席)



自宅

第8回 策定委員会
Webシステムを活用し、
離れた場所から出席

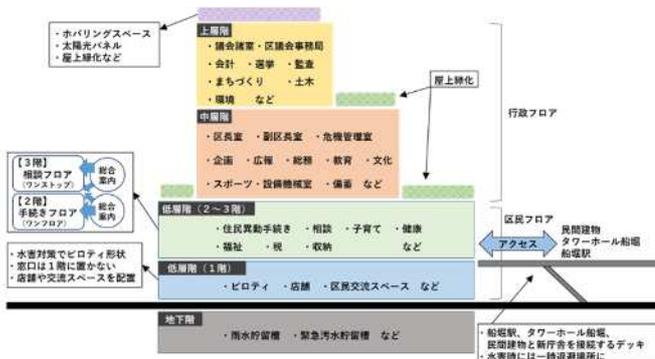
職場・身近な区民館

次第「3 新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の内容検討」について

今年度最初の開催となる今回は、令和2年度末の「基本構想・基本計画」策定に向けて、これからの約1年間で検討する項目を説明し、その後、意見交換を行いました。

令和2年度の
主な検討項目

規模・施設計画・建設地等(建物や駐車場の規模・施設構成・敷地の動線計画など)
事業化の検討(概算建設費・建設手法・スケジュールなど)



<施設計画(機能の配置構成)のイメージ>

委員の主な意見の要旨

今回の新型コロナウイルス感染症蔓延を踏まえ、庁舎のあり方を考えていくべき。基本理念に反映できるとよい低地帯である区の特徴を踏まえ、内・外部のしつらえを検討するにあたり、“水害対策”をもっと主張するとよい車の進入動線は安全性の観点から、シンプルにするべき敷地利用という点で、オープンな空間を計画するなど、ゆとりに配慮するとよい
まちづくりのスケジュールと連携しながら緻密に進めてほしい

今回説明した主な項目に関し、次回以降、検討を進めます。次回は、建物本体や駐車場・駐輪場の「規模」、機能の配置構成に関する「施設計画」を中心に検討を深めます。

《第9回開催の予定》

日程：令和2年9月9日(水) 13:30 ~
内容：規模・施設計画の検討など
次回もWeb会議による開催を予定



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ(左の二次元コード)をご覧ください。

発行：新庁舎・大型施設建設推進室
新庁舎建設推進担当課

電話：03-5662-2605

新庁舎建設基本構想・基本計画 策定委員会ニュース 第9号 (2020.9.15 発行)

《第9回策定委員会の概要》

令和2年9月9日(水)に開催した第9回策定委員会は前回と同様、1か所に集まらない「Web会議」として開催しました。

今回は新庁舎建設検討の核となる「規模と施設計画」についてを議題とし、事務局からの説明後、意見交換を行いました。

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1 開会 | 【次第】 |
| 2 委員長挨拶 | |
| 3 新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の内容検討「規模と施設計画」 | |
| 4 その他 | |
| 5 閉会 | |

1. 規模

規模検討の方向性

今後、区の人口・職員数の減少が想定される一方、本庁舎は行政・防災の中核であることが求められるゆとりをもって計画することで用途に応用を利かせ、社会構造の変化に応じた可変的な庁舎としていく都市計画条件や周辺環境に配慮しながら、敷地に建設し得る最大規模の施設を計画していく

委員からの主な意見

建物は大きく計画し、将来変化にも対応できることが大切
災害対策本部はゆとりをもって適切にスペースを確保すべき
駐車場や駐輪場は、庁舎利用以外の利用者への対策が必要
上下段式の駐輪ラックは利用しにくい面があるため、利便性にも配慮し平面駐輪が可能なスペースを確保すべき
働き方や社会状況の変化に対し、定めた規模が適切であるか、その都度見極めていくことが重要



2度目の開催となったWeb会議

2. 施設計画

施設計画(空間構成)の方向性

地上にゆとりある空間を設けるため、駐車場は地下も活用(水害に備えた防水扉などの設置も検討)
水害発生後も継続して業務が行えるように、窓口・執務スペースなどの行政機能は1階に置かない
区民利用が多い窓口を2・3階に配置するとともに、駐車場を同フロアの横に設け利便性向上を図る
関連性の高い部署は近接して配置することで、誰にとっても分かりやすく利用しやすい計画とする
執務空間にはバックヤードを設け、打合せや休憩などスペースを多目的に利用する

委員からの主な意見

地下も有効に活用していくという方向性は良い
2・3階で来庁者の主な目的を達成できるということや、同階の駐車場から横移動できる仕組みはとてもよい
検討する上で騒音や臭気等、目に見えないものにも配慮することが大切
感染症予防として、待合スペースや出入口は適切な広さを確保すべき
バックヤードはクリエイティブな場所として有効に活用されるべき



感染症対策として「3密」を回避

《第10回開催の予定》

日程：令和2年10月19日(月)13:30～
内容：建設手法・財源など
次回もWeb会議による開催を予定



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ(左の二次元コード)をご覧ください。

発行：新庁舎・大型施設建設推進室
新庁舎建設推進担当課
電話：03-5662-2605

新庁舎建設基本構想・基本計画

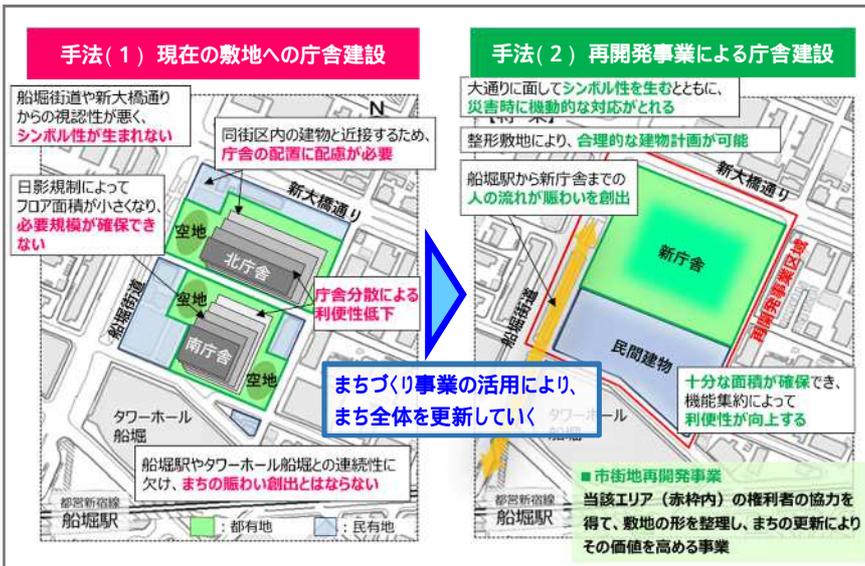
策定委員会ニュース 第10号 (2020.10.27 発行)

《第10回策定委員会の概要》

令和2年10月19日(月)に開催した第10回策定委員会は、第8回・第9回と同様、1か所に集まらない「Web会議」として開催しました。今回は「建設地の概要、建設手法とコスト等」について事務局からの説明後、意見交換を行いました。

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 開会 | 【次第】 |
| 2 | 委員長挨拶 | |
| 3 | 新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の内容検討「建設地の概要、建設手法とコスト等」 | |
| 4 | その他 | |
| 5 | 閉会 | |

はじめに、建設地の状況や課題を踏まえて再開発事業を活用する趣旨(下左図)や、建設地の都市計画条件について、認識の共有を図りました。さらに利用者のアプローチが、自動車やバス利用、船堀駅からの徒歩など様々な方法があることを想定した、「アクセス計画」の考え方も示しました。また、新庁舎の「供用開始」の目標年次を令和10年度(2028年度)とするとともに、概算費用や考えられる財源、さらに、これまでの策定委員会での意見を踏まえた「新庁舎のイメージ図」を確認した後、意見交換を行いました。



＜再開発事業を活用した際の効果＞

	新庁舎	再開発
R2年度(2020)	基本構想・基本計画	・準備組合 ・基本構想
R3年度～ R4年度	基本設計方針	・事業協力者選定 ・基本設計方針
R5年度～ R6年度	再開発組合が新庁舎と民間建物を一体で実施(区が庁舎部分監修)	・基本設計 ・実施設計
R7年度～ R9年度		・建築確認手続き ・工事
R10年度(2028)		移転・供用開始

＜想定スケジュール＞

委員からの主な意見

現状の不整形な敷地に庁舎建設を行った場合の課題や、再開発事業による庁舎建設の利点が理解できた再開発事業を行うことで、供用開始までに時間を要するが、丁寧に検討がなされ活気ある街になるとよいスケジュールについて、供用開始までの時間の使い方が大切。期待が高まるような仕組みがあるとよい財源について、基金の備えがあることを理解できた。無駄が無いよう活用してほしい
浸水対応型を意識した『高台まちづくり』によって、周辺地域に安心を与えられる拠点になるとよい

《第11回開催の予定》

日程：令和2年12月18日(金)13:30～
内容：基本構想・基本計画(案)の確認など
次回もWeb会議による開催を予定



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ(左の二次元コード)をご覧ください。
発行：新庁舎・大型施設建設推進室
新庁舎建設推進担当課
電話：03-5662-2605